

世田谷区立桜丘中学校 理科 年間指導計画

理科の世界 (大日本図書)	年間授業時数	105	学年	1年	学級	A～F組
---------------	--------	-----	----	----	----	------

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	○自然の事物・事象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。 ○問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行う、規則性、関係性、共通点や相違点、分類するための観点や基準を見いだして表現できる。 ○自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする。
使用教科書、副教材など	「理科の世界」(大日本図書)

2. 学習指導計画及び評価方法

学 期	月	単元タイ トル	学習のねらい	活動内容	評価の観点のポイント		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取 り組む態度
1	4 5 6	単元1 生物の世界	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現する。 いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに	・実験や観察を通した探究活動 ・予想や考察等についての話し合い活動 ・教科書や資料集などから共通点や相違点を探る活動。	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、植物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解していくとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現している。	いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

		に、自然を総合的に見ることができるようになる。					
1 2 10	7 9	単元2 物質のすがた 身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現する。 身のまわりの物質に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	・実験や観察を通した探究活動 ・予想や考察等についての話し合い活動 ・得られた規則性をもとにした探究活動	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた及び状態変化、水溶液のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた、水溶液、状態変化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現している。	身のまわりの物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
2 3	11 12 1	単元3 身近な物理現象 身近な物理現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現する。 身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	・実験や観察を通した探究活動 ・予想や考察等についての話し合い活動 ・得られた規則性をもとにした探究活動	身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。	身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な物理現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現している。	身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3	1	単元4	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。	・実験や観察を通した探究活動 ・予想や考察等についての話し合い活動 ・実際に起こった現象をもとにした探究活動	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震、自然の恵みと火山災害・地震災害を理解しているとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けている。	大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現する。	大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ができるようになる。
---	---	-----	---	--	--	---	--

【評価方法】

- ① 積み重ねテストによる「知識・技能」、「思考、判断、表現」「主体的に学習に取り組む態度」の評価。
- ② 実験・観察レポート等による「主体的に学習に取り組む態度」や「思考、判断、表現」の評価。
- ③ 提出物の状況・内容による「主体的に学習に取り組む態度」の評価。
- ④ 授業内での発言などの表現による「思考・判断・表現」や「主体的に学習に取り組む態度」の評価。
- ⑤ 授業内での小テストによる「知識・技能」、「思考、判断、表現」の評価。
- ⑥ 実験に取り組む姿勢による「主体的に学習に取り組む態度」の評価